

2011年11月30日

弊社の「地球環境保全のためのバリューチェーンマネジメント」が  
平成23年度地球温暖化防止活動環境大臣表彰（対策活動実践部門）を受賞

日本興亜損害保険株式会社（社長：二宮 雅也）は、事業の上流から下流までを対象とした「地球環境保全のためのバリューチェーンマネジメント」の実践によって、平成23年度地球温暖化防止活動環境大臣表彰（対策活動実践部門）を受賞しましたのでお知らせします。

なお、表彰式は12月14日に、KKRホテル東京にて開催されます。

環境省では、平成10年度から、地球温暖化対策を推進するための一環として、毎年、地球温暖化防止月間である12月に地球温暖化防止に顕著な功績のあった個人または団体に対し、地球温暖化防止活動環境大臣表彰を行っています。

日本興亜保険グループは、今後も自社の活動だけでなく、環境に配慮した調達や商品・サービスの提供などにより、バリューチェーン全体での環境負荷の低減に努めていきます。

～ 受賞理由となった弊社の取り組み（環境省発表資料より抜粋）～

【地球環境保全のためのバリューチェーンマネジメント】

- ◇ 2012年までにCO2排出ゼロ・カーボンニュートラル企業を目指しており、カーボンニュートラル化の対象範囲は、営業・出張や紙・印刷、通勤、社外利用などの間接的排出まで含めた企業活動全般にわたります。
- ◇ 自動車保険事故の際に樹脂バンパーでの補修やリサイクル部品活用を推進するほか、Web化によって保険約款などのペーパーレス化を進めており、カーボンオフセット対象件数は2008年9月から2011年4月までの2年7か月で100万件超となっており、CO2排出量の削減も15,539tに至っています。
- ◇ 消費者の方々からも、省資源や資源循環に貢献できると評価されています。
- ◇ また、社員・代理店約9,000名がインストラクターとなって「エコ安全ドライブ」の普及を推進し、約7,300社の企業を対象にエコ安全ドライブコンテストを実施しており、普及活動にも精力的に取り組んでいます。

以上

